



正しい組織の育成

令和7年9月12日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらは健全な意欲は正しい経営姿勢において組織と企業を与える。これらは経営という現実への正しい判断である。

これら健全な意欲は企業倫理性とともに、正しい個々人の育成と環境の整備を求め、その正しい場が、社員における健全な意欲の形成を与えるものである。

これらが正しい企業経営である。利己的、また独善性などはそれらにおいて否定されるのである。

組織はその効率性や生産性を追求し、そのシステムにおいて完成を得る。これらは上記現実とともに正のサイクルの形成を与え、これが正しい結果をなすのである。

与えるという場は奪うことを完全に相違する。これが善の経営であり、これらが社会との共生において企業の健全性を与えることができるのである。

また公正な企業ルールは、社員の合意という基盤を形成できるものであり、旧時代の強制的な現実と完全に相違するものである。

これらは組織という現実とシステムを与えることは、正しい企業サイクルの育成における健全な企業経営の確立を実現できるのである。

これら正しい場の形成は、企業風土において正しい勤労意欲と労働に対する正しい評価を得るものである。

これらが企業という現実における正しい経営判断であり、それらは善の経営という日本的経営の本質であり、今日のグローバルスタンダードにおける市場変化においても、その基準の受け入れにおける、企業の未来への可能性の正しい基盤として、自己を与えることができるものである。

これらは次世代という新たな技術システム基準における企業経営への転換は、企業の創造的な風土は、上記環境において必ず実現できるものであり、それらは経営における新たな視点とともに組織の転換を得ることができるものである。